

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム アミーユ大福

## 目標達成計画

作成日: 平成 25年 11月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	【思いや意向の把握】 障がいの重度化に伴い、自分のことや思いを言葉で表現できにくい方もおられます。今、どのような思いで生活されているのか、その思いをくみ取る努力をしていますが、職員の思いこみが先行している場合もあるかもしれない。	発せられる言葉だけに頼ることなく、ご本人から出されるあらゆるサインを見逃さず、思いに寄り添えるようにする。	①スキンシップをしながら挨拶をする。	3ヶ月
				②その時に感じた手の温度、顔色、表情のいろいろから、何を望まれているのか感じとり、援助につなげる。	3ヶ月
				③日常生活動作のことだけでなく、些細な希望を見逃さないようにして、より充実した気持ちでアクティビティへの取り組みができるように援助する。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。